

ふるさとの魅力再発見

なりた大栄地区歴史ウォーキング



市指定文化財の板碑群に興味津々



八坂神社を見学

大栄地区内の寺社などを巡ることで、元の歴史に興味を持ってもらおうと3月3日、「なりた大栄地区歴史ウォーキング」が行われました。コースは、大栄公民館を発着点にし、松子観音堂や大慈恩寺、八坂神社などを散策する約3キロメートル。大慈恩寺では、鎌倉時代後期に製作された県指定文化財の梵鐘や、南北朝から室町時代に作られた、市指定文化財の板碑群などを見学しました。参加者の一人は、「普段何気なく通り過ぎていた場所にも、貴重な文化財がたくさんあることに驚いた。地元を歴史を知るよききっかけになった」と話していました。

成田シティ・クロカン・レース

市内の緑道を疾走

中台運動公園をスタート地点に、ニュータウン地区の緑道で大勢のランナーが長距離走を楽しむ「成田シティ・クロカン・レース」が3月4日に開催されました。レースは、「中学生」、「一般5キロメートル」、「一般10キロメートル」の3部門に分かれて行われ、総勢178人のランナーが参加。市街地を中心とする起伏に富んだコースで、ゴールを目指し、互いの健脚を競う熱いレースの数々が展開されました。



風を切って、スタート!

各地区で生きがいセミナー

シルバーパワー全開です



健康体操でリラックス

高齢者に日ごろの運動不足などを解消し、楽しい時間を過ごしてもらおうと「生きがいセミナー」が、2月～3月に各公民館で開催されました。公民館ごとに地元の人たちが企画・運営を行うため、内容はさまざま。サークルの発表・展示のほか、健康講座や体操、健康レシピの紹介と試食など、生活に役立つ催しもたくさん行われました。「毎年参加するのが楽しみ」という人も多く、各会場は大いに盛り上がっていました。

春季奉納全国氷彫刻展成田山新勝寺大会

復興を祈願して



完成間際の作品に集まるカメラマン

今年で22回目となる「春季奉納全国氷彫刻展成田山新勝寺大会」が3月11日、大本堂前を会場に行われました。今年は1年前に発生した東日本大震災の追悼・復興祈願大会として行われ、福島を含む全国から18人の調理師が参加。36貫目(270キログラム)の氷柱を使い、「絆」「明日に向かって」「愛」などの作品を2時間30分の制限時間内に完成させていました。



「絆」と題した作品を制作中

成田の梅まつり

開花遅れで会期を延長



文殊の池上梅林で行われた表千家観梅の野だて

成田に早春の訪れを告げる「成田の梅まつり」が2月11日～3月20日、成田山公園で開催されました。長く厳しい寒さの影響で、紅梅・白梅合わせて460本ほどの梅の開花は、例年に比べ約1カ月遅れ。3月11日を最終日としていた会期が春分の日まで9日間延長されました。40年以上の歴史を誇る成田の梅まつりですが、会期の延長は初めてのことです。



伝統音楽の演奏に聴き入る

リサイクル教室

布草履作りに挑戦



編み込み方のアドバイスを受けながら

家庭で不要になった木綿の布を使って草履を作る「リサイクル教室(布草履作り)」が3月8日、リサイクルプラザで開催されました。10人の参加者が、リサイクルプラザ運営委員の指導を受けながら、足のサイズに合わせて布を編んでいくと見事に草履が完成。出来上がった草履を実際に履いてみた参加者は、「つつるとした肌触りで履き心地がいい」と話していました。